

真和志地区ゆんたく会 9月24日

真和志地区の協働大使、自治会長、民生児童委員が沖縄大学に集い、「住み慣れた地域で自分らしく生きるために」をテーマにゆんたく会ワークショップが開かれた。

オランダのある会は会員に年間40時間以下のボランティアを勧めるという報告があった。

当自治会でも、ひっそりと拝所や所有地の草刈り清掃などが行われている。

会員から、仕事の都合で役員や行事へ参加できないが空き時間に清掃や草刈りでボランティアするという話があった。地域に繋がりたい会員が多いのではないかな？



地域との繋がりを思うと、各会員へ年間12時間程度のボランティアを奨励いたします。

第40回那覇市社会福祉大会

10月6日、パレット市民劇場で第40回那覇市社会福祉大会が開かれた。大会長表彰で当字国場自治会から特別功労賞に嘉数シゲ子氏、社会福祉事業永年勤続功労賞に中本千代子氏が受賞した。会員がこのように社会福祉の振興に大きく貢献されたことはこの上ない喜びである。

嘉数シゲ子氏は国場自治会立国場幼稚園で主任とし

て、地域の幼児教育を33年間の長きにわたり支えられた。また国場自治会副会長も歴任。自治会運営、諸行事に携わり、親身になって地域住民のため長期間ご尽力された。また、那覇市社協のうじねーデイサービスで14年間ボランティア活動に参加。地域社会活動への多大な貢献が認められ、この度の表彰となった。

中本千代子氏は40年余りの教育経験を活かし、民生員・児童委員を9年以上も務められた。地域の様々な活動にも積極的に参加。謙虚



に、人を誹謗中傷せず、何時も笑顔を決やさず人々に接する姿が、後輩にとって和気あいあいとしたグループを作る大きな刺激となっている。今後ともご指導を宜しくお願い致します。



ありがとう 多目的広場の草刈り

今年は雨が早く、草木の成長が早い。多目的広場の県道沿いで、擁壁（ようへき）のネムノキとグシチャーが伸びていた。無名の電話で、「草木を刈って束ねてあるから片付

けてね」とあっさりした報告を受けた。誰であったか分からずじまいである。さっと済ませられる姿が清々しい。綺麗になりました。



生老会の遠足



目指すは北部の古宇利島！

まず最初に、恩納村多幸山パーク(琉球村)で道ジュネー見学を中心に園内観覧。さすが当会員は慣れていて、

熱心に見入っていた。最後のカチャーシーは日中にもかかわらず、多くの方が参加し盛り上げた。昼食は以前の旅行でも

利用したバイキング。喜瀬ビーチホテル最上階でコバルトブルーの海と純白のビーチを眼下に会話が弾み、料理を堪能した。

観光バスでは、座席のクッションが格別で眠気を誘う。高い座席からの風景は普通乗用車とは違い、視野が広がる。テレビ映像のようである。

古宇利島はかなりの方が過去に数回訪れたようである。大橋の全長1,960m間、見渡す限り広がる同島と本島を挟む海洋の絶景を、空調の効いたバスの豪華な座席から眺める。「オー」と歓声を上げ笑顔の弾んだ楽しい遠足となった。

帰りはいつもの通り、買い物とトイレ休憩のため、恩納村の道の駅「おんなの駅 なかゆくい市場」を訪れた。今回、野菜類の少なさが目に付いた。

お出かけは車に揺られ、乗り降りやトイレ、美味しい食事、その間の歩き、全てがリハビリだとある会員の方が話されていた。正にその通りだと思う。

慰霊の塔 戦没者刻銘

名簿漏れの届出、12月末日締切

漏れを無くそう。

配られた戦没者名簿を、是非もう一度ご覧ください。1班から7班までめぐって戦前の知人一家を思い出し、戦没者が漏れていないか確認をお願い致します。

